

計装®

INSTRUMENTATION  
CONTROL  
ENGINEERING

<http://www.ice-keiso.co.jp>

2007. Vol. 50 No. 10

10月号

## multi window

### Web ベースのビル設備管理システムに米SL社のリアルタイムJava GUIを採用, SLジャパン発表

米国SL社の日本法人SLジャパンは、ビル管理システムなどの設計開発会社であるアイテック阪神が新しいWebベースのビル設備管理システムに「SL-GMS J/Developer」ならびに「SL-GMS Custom Editor」を採用したと発表した。

アイテック阪神の新しいビル管理システムは、同社のこれまでの経験や技術力を結集した総合管理システム「OCTBAS-i」。電力・空調などの設備をWeb画面を利用して監視制御したり、遠隔からのリモート監視や機器異常発生時のメール送信機能など、従来の管理者のみのビル管理システムからオープンな設備機器監視システムを指向した機能を有してい

る。

今回は一新されたWebベースのグラフィック監視画面に、SL社のリアルタイム監視制御システム用のグラフィックソフトウェアSL-GMS J/DeveloperならびにSL-GMS Custom Editorが採用された。SL-GMS J/Developerは、シンクライアントなJavaのリアルタイム・ダイナミックGUIを容易に構築するための開発ツールで、世界の監視制御システムで使用されている。

設備管理システムのWeb監視画面は、スケジュール設定、トレンド測定履歴、受変電系統制御、警報監視、遠隔操作など多数画面で構成されており、中央監視システムで収集

されたデータ駆動でSL-GMS J/Developerによって高速表示される。そして動的振る舞いをすぐにプレビューして確認できるため、多種多様の監視制御画面を迅速に開発することができる。

さらに、現場でプログラミングすることなく監視画面を容易に変更し、保守費用を最小限にできるシステム環境がSL-GMS Custom Editorで構築される。このためSL-GMS Custom Editorは、オブジェクト・パレットやデータとの接続など、アプリケーション固有のビルダとして作り込むことが可能で、その開発工数を数人/年から数人/月に削減できるメリットがある。(M-1164)